

日本とオーストラリアの家の違いについて

吉田 志築 (高校2年)

まず、日本の家とオーストラリアの家の違いの前に、オーストラリアの家の特徴を挙げたいと思います。オーストラリア内でもシドニーとカムデンでは家の特徴に違いがありました。シドニーとカムデン、どちらの町にも(一軒家では)平屋と2階(3階)建てがありました。シドニーはやはり都市なので、底面積の小さい2階(3階)建ての方が平屋より多く見られました。一方郊外のカムデンではシドニーより平屋の割合が多かったです。町の中心部や住宅地から離れると見える家はほとんど平屋でした。また、シドニーには東京のように高級住宅地があるようでした。

さて、日本とオーストラリアの家の違いですが、まず挙げられるのが「値段の違い」だと思います。シドニーの住宅価格の過去15年の上昇率は140%を突破、シドニーはロンドンやニューヨークを抜き、世界で2番目に高価な住宅市場となっています。シドニーではそのようなことが起こっていますが、郊外のカムデンの家の値段も日本の普通の家の値段と比べるとかなり高く、カムデンの新聞の家の広告では、7000万円ぐらいの家が多く載っていました。

次に挙げられる違いは、内装面の違いだと思います。私のホストファミリーの家は平屋ではなく2階建てでしたが、日本の家よりも部屋が大分大きかったです。リビング・ダイニングの横にはビリヤードルームがありました。また、外にはプールがありました。日本では洗濯機は脱衣所や洗面所に置かれていることが多いと思いますが、オーストラリアの家では洗濯機だけを置く「ランドリールーム」があるのが普通らしく、ホストファミリーの家にもありました。ランドリールームには外に出る扉があり、洗濯が終わったらすぐに干せるようになっていました。また、シドニーのアパートやマンションには景観維持のためにベランダの洗濯物干しを制限するルールがあるそうです。

今回、家を研究対象として選んだのは、プライベートの旅行ではなく、一般家庭にホームステイするという形でオーストラリアを訪れ、家を間近に見る機会があったからというのはもちろんですが、なにより、私がお家を好きだからです。この派遣の中でも家で過ごした時間はとても楽しかったです。



近所の建設中の家